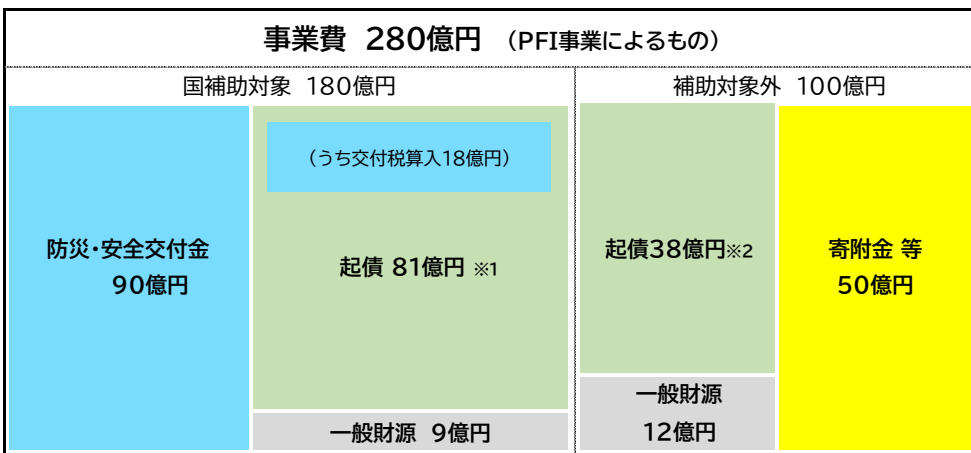


アリーナ整備事業費の財源計画について

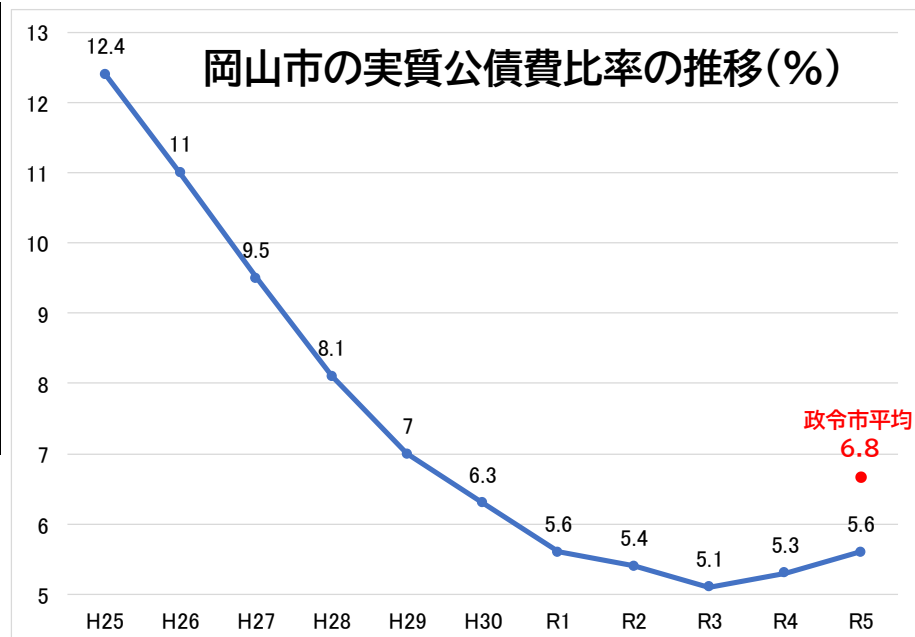


※1 公共事業等債: 充当率90%、交付税算入率22.2%

※2 一般単独事業債: 充当率75%、交付税算入率0%

実質負担割

	国	108億円 (交付金90億円、起債に係る交付税18億円)
	市	122億円 (一般財源21億円、起債101億円)
	経済界等	50億円



岡山市の実質的な負担

○ 交付税算入額を除いた実質的な負担

- 総額: 122億円
 - 起債: 101億円 (81-18+38億円)
 - 一般財源: **21億円** (9+12億円)

○ 実質公債費比率

- 返済額 101億円 ÷ 30年 = 3.4億円/年
- 実質公債費比率 3.4億円 ÷ 2,126億円 = **0.16%**

※ (実質公債費比率) = (返済額) ÷ (標準財政規模 - 交付税措置額)

※ 金利は考慮していない

※その他、道路・公園などの周辺環境の整備や、調査・委託費等も必要となる